

霧

中

ク

ラ

フ

第7号

っ

う

し

ん

霧の海とは、
秋から早春にかけての早い時期、深い霧に覆われた
三次市街を見下ろすと、幻想的な霧の海をみるこ
ができます。

むちゅう

霧中クラブとは

三次名物「霧の海」が大好きで、その素晴らしさを伝えたい「霧の海ファン」が活躍する場です。ここでは①どうすれば「霧の海」を有名にできるか？ ②どうすれば素晴らしい名所になるか？等を市民ひとりひとりが主役となり話し合いながら企画・運営しています。国土交通省と三次市は企画立案された内容の実現に向けてアドバイスやお手伝いをします。

第7回「霧中クラブ」

概要

平成17年1月30日（日）に、三次河川国道事務所において、第7回霧中クラブが開催されました。第7回では、第6回から第7回までの活動報告と3月末までの霧中クラブの活動、今年度の活動のまとめについて意見交換をしました。

第6回から第7回までの活動報告

- ・霧の海作品展の報告
- ・霧の海作品展の反省会の報告

※活動内容は次のページに記載しています。



3月末まで活動内容

- ・霧中クラブのこれまでの活動と高谷山の整備案について市へお願い書を提出することに決まりました。
- ・イベントグループは「霧の海作品展」も終わりましたので予測情報グループと施設整備グループの活動をバックアップすることに決まりました。
- ・「予報し隊」の的中率を向上するために勉強会を開催する案や、ケーブルTVで霧の予報を発信するなどの面白いアイデアがでました。



今年度のまとめ

今年度の活動のまとめとして、印象に残ったことや、来年度やってみいたいこと等の感想文を参加者全員で書き発表しました。

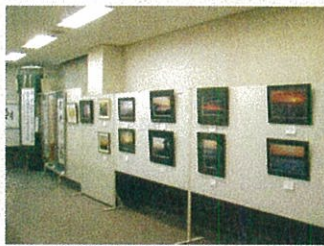


霧の海作品展

平成16年12月3日～5日の3日間、霧の海の素晴らしさを、多くの方に知っていただくために、三次の霧の海をテーマにした「霧の海作品展」を霧中クラブ^{むちゅう}全体で取り組み、「みよしまちづくりセンター」で開催しました。

会場の準備風景。

作品は出品者の方に展示をしていただきました。



出品総数62点、出品者50名と多くの作品で会場はいっぱいになり、当初の予想を超える応募数で、急遽2F会議室にも作品を展示することになりました。

みなさん「霧の海作品展」にご協力いただきありがとうございました。

2階会議室で11月7日に行われた霧の海開きのビデオ上映とNet-A趣向さんのご協力によりスライドショーを行いました。



作品の展示の他にも霧中クラブ^{むちゅう}のこれまで活動してきた内容を来場者の方に紹介したり、霧にまつわる三次の特産品の展示なども行いました。



作品展開催の3日間のうち土曜日、日曜日はあいにくの悪天候でしたが200人弱の方々にご来場していただき、大盛況のうちに無事終了しました。

作品投票の結果発表

投票結果はかなりの混戦でしたが、以下の4作品が上位3位に選ばれました。



長岡健三さん

(大自然からの贈り物) 34票



夢霧の会さん

(霧のたわむれ) 25票



仮野隆さん

(巴の夜明け) 19票



松莚流さん

(初冬の霧の海) 19票

後援でもある中国新聞社さんには、平成16年12月4日(土)の朝刊に掲載していただきました。

共催して頂いた三次市様、三次観光協会様、後援して頂いた中国新聞社様、本当にありがとうございました。

霧の海作品展の反省会

平成16年12月12日(日)に「霧の海作品展」の反省会を三次ベッセンビルにて行いました。今回はランチを食べながらの雑談形式で反省会を行いました。

参加者全員で作品展のよかった点、よくなかった点を2つずつ書いて発表し、来年の参考資料にしました。食事もおいしく、楽しい反省会になりました。



<主な良かった点>

- ・いろんな作品が集まり面白かった。
- ・出展作品が予想以上に多かった。
- ・100人を越える見学者があり、霧中クラブ参加希望者の発掘ができた。
- ・いろいろな人にふれ合えて良かった。
- ・「霧の海」の良いPRになった。
- ・参加者の協力で盛り上がったこと。
- ・初めてのイベントなのに準備・片づけがスムーズに行えた。
- ・アンケートの回答率が多く、良かった。

<主な悪かった点>

- ・スタッフが少なかった。
- (参加メンバーが少ない)
- ・全体を把握しているプロデューサーが必要。
- ・天候が悪かった。・・・暖かい時期に実施しては
- ・作品点数の割にお客さんが少なかった。
- ・展示会場が悪い。・・・人が自然と集まるサン・グリーン、プラザで実施しては
- ・作品スペースが狭く、会場を1階、2階と分割しない方が良い。

等

霧中クラブからのご案内

霧中クラブ参加者大募集(参加無料・参加自由)

三次名物の「霧の海」が大好きで、その素晴らしさを伝えたいがPRし活躍する場がないとお嘆きの方に朗報です。
霧中クラブは、どなたでもご自由に参加して頂けます。
少しでも「霧の海」に興味のある方はふるってご参加ください。次回霧中クラブは3月6日(日)に開催します。
※詳細については下記の問い合わせ先にご連絡下さい。



三次市観光ボランティアグループ

丸岡幸雄氏 撮影・提供

「霧の海」予報し隊大募集(参加無料)

霧中クラブでは霧の海を予報したい人【霧の海予報し隊】を大募集しております。

「霧の海」予報し隊入隊条件は

- ①「霧の海」を実際に3回以上見たことがある。(自己申告)
- ②インターネットにより情報を入力できる方。
- ③自分独自の研究(勘を含む)を最大限に活用し「霧の海」予報に最前を尽くすことができる方。

霧の海発生予報

<http://www.miyoshi-mlit.go.jp/kiri/index.pl>

霧の海が見れる河川監視カメラ <http://www.miyoshi-mlit.go.jp/cctv/camera.asp>

高谷山ライブカメラ(Net-A趣向) <http://www6.ocn.ne.jp/~bbm/miyocame.htm>

※詳細については下記の問い合わせ先にご連絡下さい。



第8回 霧中クラブ開催決定(参加無料・参加自由)

- 日時：平成17年3月6日(日)
- 時間：13:00~16:00
- 場所：三次市十日市西6丁目10番45号

みよしまちづくりセンター2階会議室

霧中クラブはどなたでも、ご自由に参加していただけます。

「霧の海」に少しでも興味のある方、初めての方も大歓迎です。ぜひご参加ください。



発行元

霧中(むちゅう)クラブ

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局
三次河川国道事務所 調査設計課 担当 杉村、濱本
〒728-0011 三次市十日市西6丁目2番1号
電話 0824(63)4121
FAX 0824(63)0210

三次市自治振興部まちづくり推進室
観光・地域交流グループ 担当 高岡
〒728-0011 三次市十日市西6丁目10番45号
電話 0824(64)0066
FAX 0824(64)0067